

男女の陰陽を知る7.8

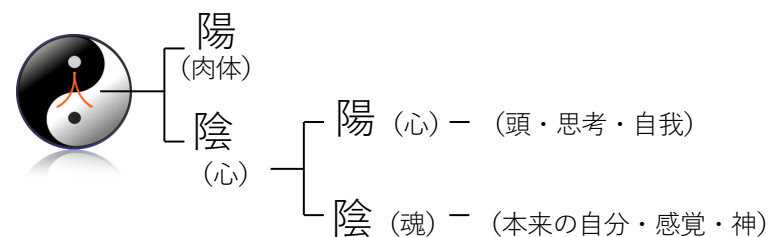
志庵鍼灸院 山口誓己



1

1

三位一体



2

かごめ、かごめ、籠の中の鳥は
いついつ出やる、夜明けの晩に
鶴と亀が続べた、後ろの正面だれ

3

3

陽の心（男性的な心の性質）

- ・ 陽は外向きに発散する性質を持つ
- ・ 自身と外の関わりを考える
- ・ 世間の目、社会的な在り方、常識、論理的
- ・ 比較、競争、未来、発展

4

4

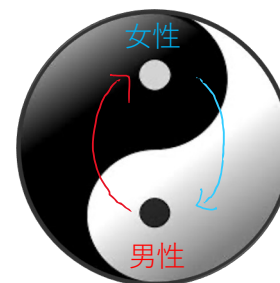
陰の魂（女性的な心の性質）

- ・ 陰は内向きに収斂する性質を持つ
- ・ 自身の内側で対話する
- ・ 自分らしくいる、ありのままにいる、感情、直感的
- ・ 自分と向き合う、共存平和、今、戻る

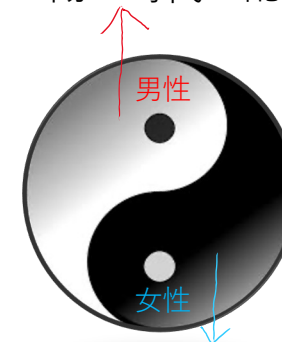
5

5

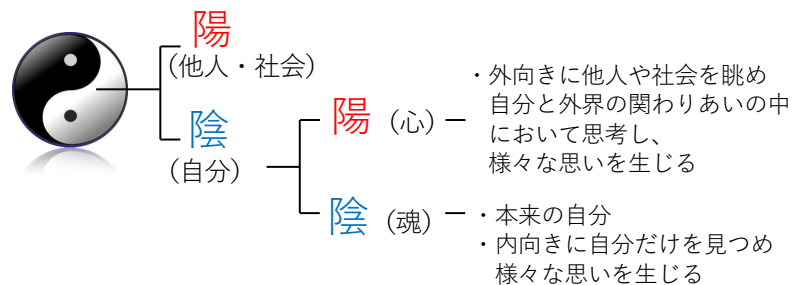
陰の時代・平和



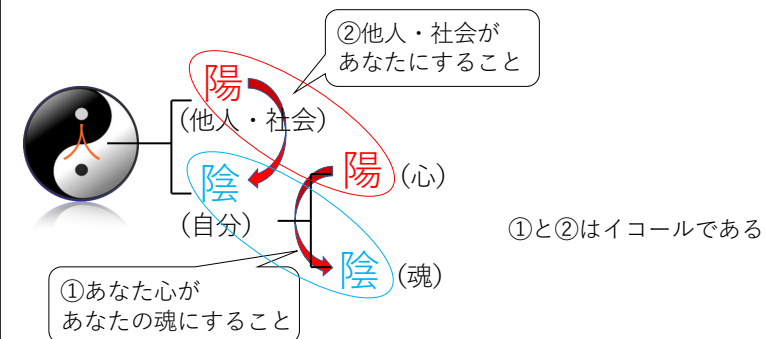
陽の時代・乱



6



7



8

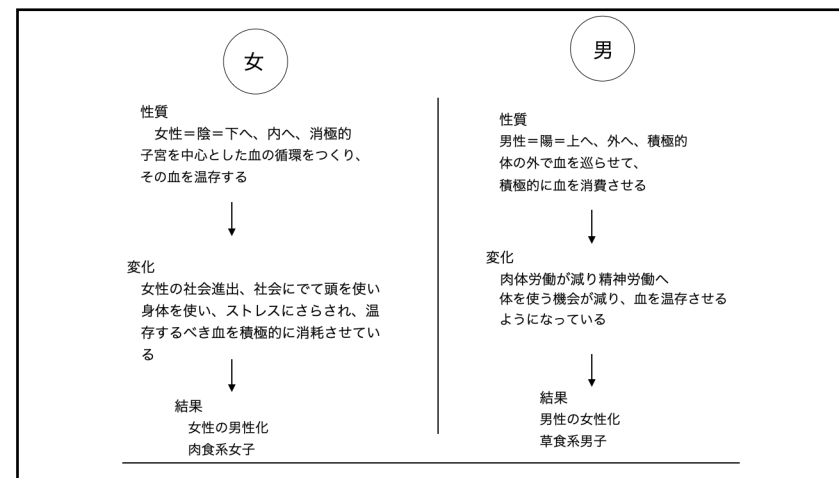
男性の陽の視点

- ・ 陰ではなく陽に視点を定める
- ・ 今ではなく未来に視点を定める
- ・ 現状ではなく目標に視点を定める
- ・ 今見えるものではなく、これから見たいものに視点を定める
- ・ 無い現実ではなく、欲しい未来に視点を定める

* できるだけ大きな未来の理想を想像すること

* 女性は過去に、男性は今に視点が向くことが多いので注意

9



10

14歳

- ・ 外の器が完成し、精が五臓に蔵され固摂される
これによって内側が充実し初潮が起こる
- ・ 精（生命）が五臓の中に隠されることで
プライバシーが生じる。
- ・ 大人の感性が生じる
- ・ 結果にコミットしないこと！！

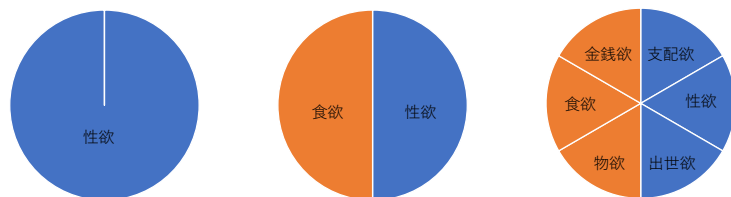
11

28歳

- ・ 女性として最も充実した時期（妊娠適齢期）
- ・ フェロモン感度最高期

12

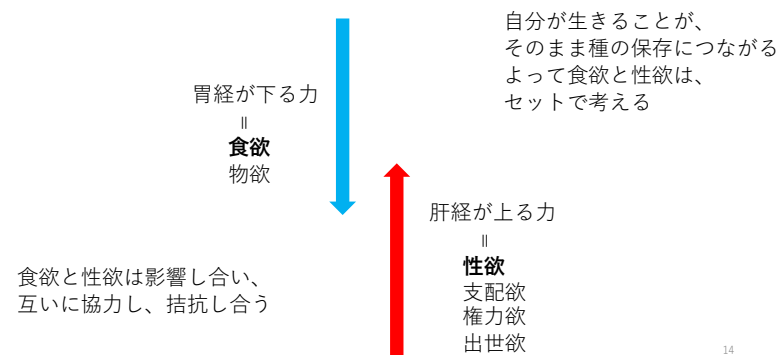
欲



13

35歳

食べ過ぎ



14

42歳

- ・物忘れという進化が始まる
「無駄を知り、本質を極める」
- ・30代までの経験によって
この世界のことをそれなりに分かってくる
しかし沢山の情報があってもそこに優先順位がついていない
よって人生においてもっとも惑いの時期となる
- ・40歳になると、必要なものと、必要でないものの優先順位がついてくる。よって迷わなくなる。そのためには30代のうちに
たくさんの失敗を重ねること。

15

孔子 論語

- 十五にして学志す。
- 三十にして立つ。
- 四十にして惑わず。
- 五十にして天命を知る。
- 六十にして耳順（したが）う。

16

49歳

- ・生殖能力がなくなり、人生を切り替える時期
- ・自分を知ることができる（50にして天命を知る）
- ・幸せを感じやすい、迷いの少ない、万物の本質がわかる、非常にすばらしい時期に入ってくる

17

スカイダイビング

①着床



②産まれる



③最高高度（28歳）



④49歳（更年期）



⑤死

18

56歳

- ・脳髄機能の最盛期（奇恒の腑）
入力落ちて、出力性能最大期を迎える
- ・無駄なものが見えなくなり、自分の世界が作られる
- ・外からの影響を受けにくくなる

19

63歳

- ・万物の本質がわかるようになる
- ・旅と芸術・習い事の好機

70歳

- ・健康であればこの時期、
この世の深淵に触れて暮らす

その後

- ・自分の心と体を折りたたんでいく
- ・穏やかに幸せに散っていくための準備

20